



ホットプレート HGB-1310

取扱説明書

もくじ



- 安全上のご注意……………①～③
- 使用上のご注意 /仕様……………④
- 各部の名称……………⑤
- 使いかた……………⑥～⑦
- お手入れ……………⑧
- 故障かな?と思ったら
/点検……………⑨
- アフターサービスについて…⑩

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは弊社ホットプレートをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止 (してはいけないこと) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制 (必ずすること) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水ぬれ禁止

**本体や自動温度調整器を水につけたり、水をかけたりしない
また、プレートを濡れたまま本体にセットしない**

ショート・感電の原因になります。



交流100V
15A以上

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他器具と併用したり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。



禁止

**電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、
ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、
加工したりしない**

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みが
ゆるいときは使わない**

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

本体に衝撃を加えない

ひびが入ったり割れた場合、そのまま使うと加熱しすぎたり異常動作、感電の原因になります。

警告



子供だけに使わせたり、幼児の手の届く所で使わない
感電やけが、やけどの原因になります。



自動温度調整器をなめさせない
特に乳幼児が誤ってなめないよう注意する
感電やけがの原因になります。



不安定な場所や燃えやすい物の近くでは使わない
火災、やけどやけがの原因になります。



揚げ物はしない
火災の原因になります。



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電けがをすることがあります。



根元まで
差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発火の原因になります。



ほこりを
とる

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは
乾いた布で拭き取る
火災の原因になります。



プラグを
抜く

異常時（コゲくさい臭いなど）はご使用を中止して電源プラグを
抜く
異常のままご使用を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止して
お買い上げの販売店にご相談ください。



自動温度調整器や差込口に異物を付着させない
ショート・発煙・発火の原因になります。乾いた布で拭き取ってください。

注意



プラグを
持って抜く

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火する原因になります。



禁止

使用中や使用直後しばらくはプレートなどの高温部にふれない

プレートなどが熱くなっていますので、やけどの原因になります。



プラグを
抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



禁止

プレートを直接ガスコンロなどで加熱したり空焚きしない

本製品以外での使用は絶対にしないでください。プレートの変形・破損の原因になります。また、空焚きすると本体の故障の原因になります。



禁止

缶詰やビン詰めを直接加熱しない

破裂や赤熱してやけどやけがの原因になります。



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない

敷物が熱で変色・変質したり、火災の原因になります。



禁止

水のかかる所や、火気の近くでは使用しない

感電や漏電の原因になります。



禁止

本体周囲に熱がこもる環境で使わない

新聞紙など本体裏面の通気口をふさぐようなものの上や、じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上では使わないでください。火災の原因になります。
※壁や障害物から10cm以上離してください。



禁止

蒸し焼料理やステーキなどを焼くときは、蓋の間から出る蒸気や油の飛び散りに注意する

やけどのおそれがあります。



禁止

予熱以外に空焼きをしない

フッ素加工がはがれたり、プレートの変形の原因になります。

使用上のご注意

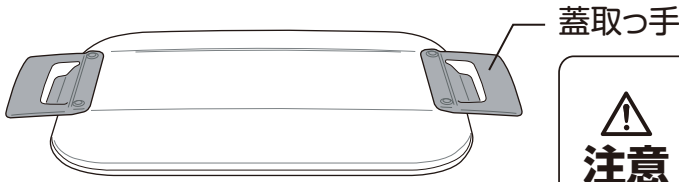
- 初めて使うときや長期間保管していたときは、ふたやプレートを水洗いして十分に乾燥させてください。
- 初めてお使いになるとき、煙がでたり、においがすることがありますが、故障ではありません。ご使用にとまらなくなりません。
- 長時間使用していると、調理物の油や水の成分によってプレートが変色することがありますが、ご使用に差し支えありません。
- ご使用中、きしみ音が発生することがありますが、ヒーターの熱膨張によるもので故障ではありません。
- 調理以外には使わないでください。故障の原因になります。
- 調理中にプレートやプレートと蓋の間からの水や水蒸気・油の飛び散りに注意してください。
- 調理中に多量の冷たい水をプレートに入れしないでください。急激な温度低下によってプレートが変形する恐れがあります。
ぎょうざなどを調理する際に水が必要なときは、熱いお湯を入れてください。
- 自動温度調整器の接続部（差込口のピン、ピンの差込口、感熱棒）に調理物が付着しないよう注意してください。付着したときは、ただちにお手入れしてください。（8ページ参照）
- 予備加熱以外に空焼きをしたり、金属へらやフォーク、ナイフなど角や先の鋭利なものは使用しないでください。プレートのフッ素加工がはがれる原因になります。
- プレートに調理物を放置しないでください。また、お手入れは早めにしてください。プレートのフッ素加工のはがれや浮き、変色の原因になります。

仕様

| | |
|--------|------------------------|
| 電 源 | AC100V 50/60Hz |
| 定格消費電力 | 1300W |
| 本体寸法 | 幅61.0×奥行36.0×高さ11.5 cm |
| 本体質量 | 約4kg |
| 電源コード長 | 約1.8m |
| 温度調節範囲 | 保温～約230℃ |
| プレート寸法 | 内寸 約48.0×30.0×3.0(cm) |
| ヒーター | シーズヒーター |

各部の名称

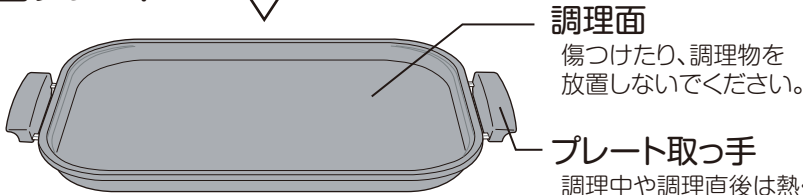
- ふた 予熱したり、蒸し焼き料理などに使用します。



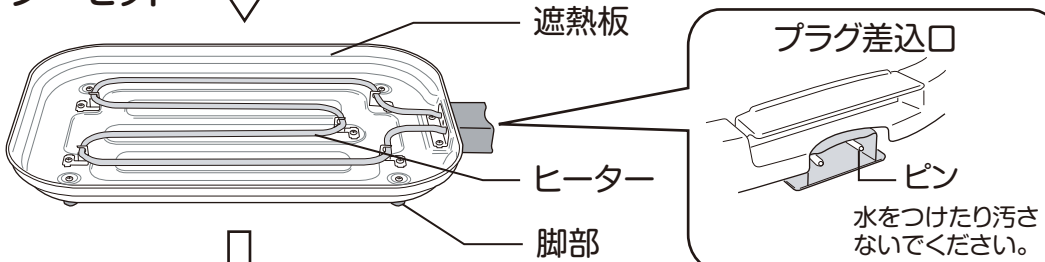
注意

蒸し焼料理やステーキなどを焼くときは、蓋の間から出る蒸気や油の飛び散りに注意してください。
やけどのおそれがあります。

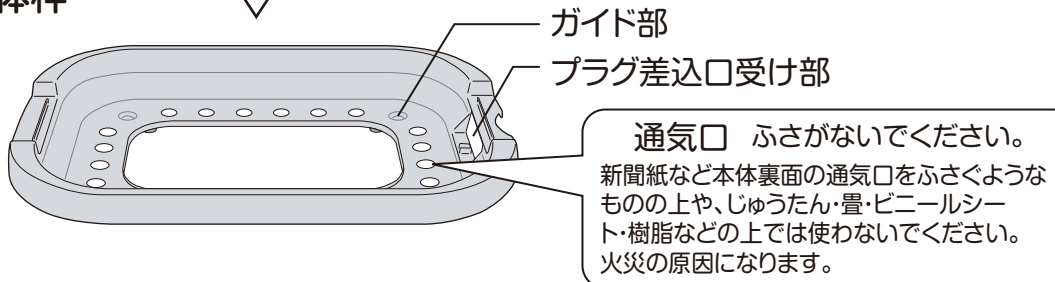
- 平面プレート



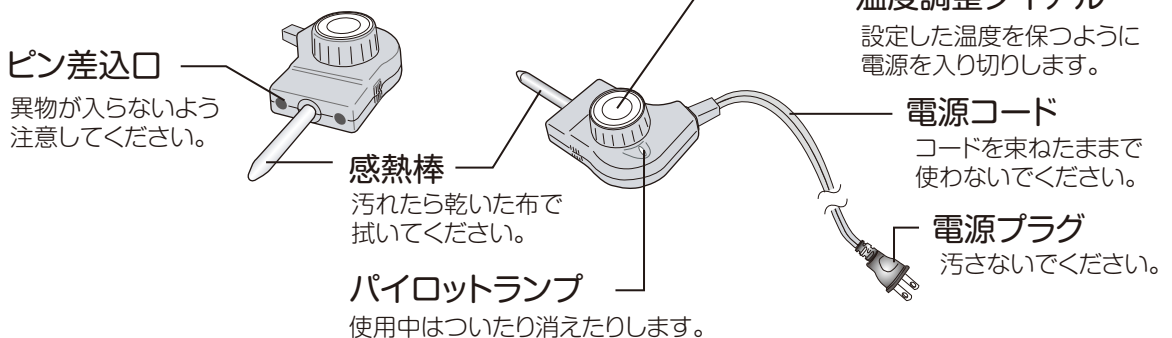
- ヒーターセット



- 本体枠



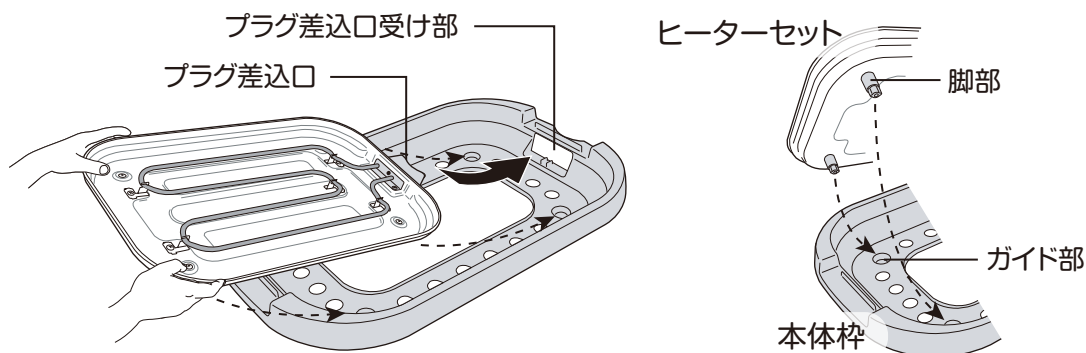
- 自動温度調整器



使いかた

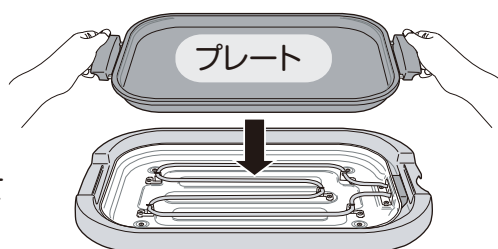
1 本体枠にヒーターセットを取付ける

- ①ヒーターセットのプラグ差込口を本体枠の受け部にはめ込んでください。
- ②ヒーターセットの4ヶ所の脚部を本体枠のガイド部に入れてください。



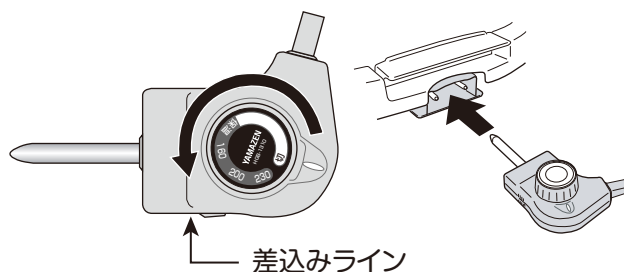
2 プレートを取付ける

- ガタツキや傾きがないよう、ヒーターセットに乗せてください。
- プレート裏面や遮熱板に水滴や異物が付着していないか確認してください。付着しているときは、乾いた布などで拭き取ってください。



3 自動温度調整器をセットする

- ①自動温度調整器のダイヤルを「切」にしてください。
 - ②プラグ差込口にしっかりと差し込んでください。
- 自動温度調整器の差込みラインまで確実に差し込んでください。

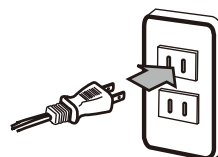


注意

プラグ差込口のピンや自動温度調整器のピン差込口、感熱棒が汚れていないか確認してください。汚れていたら乾いた布で拭いてください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

- 自動温度調整器のダイヤルが「切」の位置になっていることを確認してください。
- プレートがセットされていない状態では絶対に通電しないでください。



交流100V
15A以上

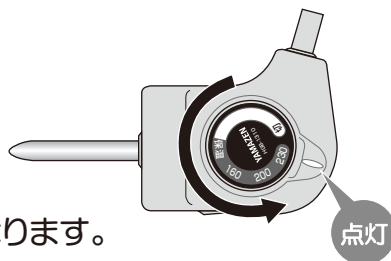
電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

使いかた

5 調理する

1. 予熱

- メニューに応じ目盛りをパイロットランプに合わせ予熱してください。
 - パイロットランプが消えたら予熱完了です。
- ※予熱の時間は設定目盛りや室温によって多少異なります。



料理と温度の目安

目盛は、ふたをしていないときのプレートの表面温度の目安です。

| 目盛 | 160 | 200 | 230 |
|------|--------------------------|----------------|------------|
| メニュー | ホットケーキ お好み焼き ハンバーグ | 焼きぎょうざ 焼きそば | ステーキ 焼肉 |

※ぎょうざなどを調理する際に水が必要なときは、熱いお湯(90℃程度)を入れてください。また、水や油の飛び散りにご注意ください。

2. 調理

- 予熱が完了したら、調理を始めます。(必ず予熱してから調理してください。)
- 調理をする前にサラダ油をうすくぬってからご使用ください。
- 使用中はパイロットランプが付いたり消えたりして設定温度を保ちます。
- できあがりをお早くしたいときや油が飛び散るときは、ふたをご使用ください。
- 保温をするときは、温度目盛りを「保温」にしてください。

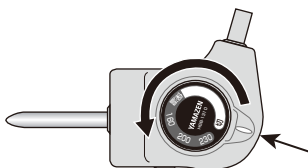
- 調理中にプレートを取り外したりしないでください。やけどの恐れがあります。
- 使用中にキシミ音がすることがありますが、熱による膨張収縮音で故障ではありません。
- 調理中、温度調整ダイヤルを回すときは周囲が高温になっていますので、ご注意ください。

プレートのフッ素加工を傷めないために

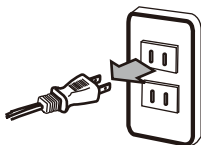
- 予熱以外に空焼きをしないでください。
- 金属へらやフォーク、ナイフなど角や先の鋭利なものは使用しないでください。
- 調理したものをプレートに放置しないでください。また、お手入れは早めに行ってください。フッ素加工のはがれや浮き、変色の原因になります。

6 使い終わったら

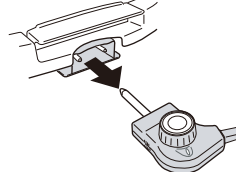
①自動温度調整器のダイヤルを「切」の位置にします。



②電源プラグをコンセントから抜きます。



③自動温度調整器を差込口から抜きます。



※本体・プレート・ふたが冷めてから、お手入れしてください。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く



使用直後は、本体・プレート・ふたは、熱くなっています。
お手入れは充分冷えたことを確認してから行ってください。
特にプレートが熱いときに水をかけると、変形したり、フッ素加工を傷める
ことがあります。

2 お手入れをする

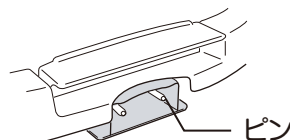
本 体

- 本体は、台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。

ヒーターセット

水洗い禁止

- 遮熱板やヒーターは、台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。
- 差込口のピンは、乾いたふきんなどで汚れや異物を拭き取ってください。



プレート

- 本体から取り外して台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よく乾かしてください。
- こびりついた汚れはぬるま湯にしばらく浸してから落としてください。
- 洗った後は、充分に乾燥させ、鍋にはサラダ油をうすく塗っておいてください。

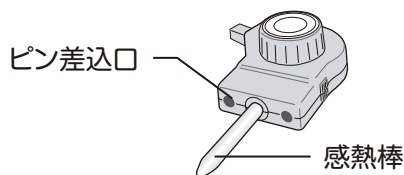
ふ た

- 台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よく乾かしてください。

自動温度調整器

水洗い禁止

- 感熱棒や本体は、乾いたふきんなどで汚れや異物を拭き取ってください。
- ピン差込口に付着した異物は、爪楊枝などで取り除いてください。
付着して取れないようであれば、点検修理を販売店にお申し込みください。
(有償修理となりますので、ご了承ください。)



お手入れにはシンナー・クレンザー・金属たわしなどは使わないでください。変色・変質・劣化などの原因になります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

| こんなとき | 調べるところ |
|------------------|--|
| プレートの温度が上がらない | <ul style="list-style-type: none">●電源プラグが抜けていませんか。●自動温度調整器が本体からはずれていませんか。●温度調節ダイヤルが「切」の位置になっていませんか。●プレートが本体に確実にセットされていますか。 →傾いていたり、浮いていたりする場合は再度セットしなおしてください。●遮熱板やヒーターが汚れていたり、異物が付着していませんか。 →遮熱板やヒーターをお手入れしてください。●自動温度調整器の感熱棒やピン差込口が汚れていませんか。 →8ページの「お手入れ」を参考にお手入れしてください。●ヒーターセットの差込口のピンが汚れていませんか。 →8ページの「お手入れ」を参考にお手入れしてください。 |
| 自動温度調整器が熱い | <ul style="list-style-type: none">●自動温度調整器の感熱棒やピン差込口が汚れていませんか。 →8ページの「お手入れ」を参考にお手入れしてください。●ヒーターセットの差込口のピンが汚れていませんか。 →8ページの「お手入れ」を参考にお手入れしてください。 |
| 使用中に音がする | <ul style="list-style-type: none">●「カチツ」と音がする。 →ヒーターの膨張による音で故障ではありません。 |
| 煙がでたり、においがする | <ul style="list-style-type: none">●はじめてお使いになるときに、煙がでたり、においがすることがありますが、故障ではありません。ご使用とともになくなります。 |
| 加熱ランプがついたり消えたりする | <ul style="list-style-type: none">●設定した温度で温度調節（電源の入り切り）を行っているためです。異常ではありません。 |

※上記の点検または処置をしても異常がなおらなかつたり原因がわからないときは、自動温度調整器のダイヤルを“切”にして差込口から抜き取り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

点検 電源コード、電源プラグはときどき点検を行ってください。

- 1.電源プラグが汚れていたり、錆びていたり、ほこりが付着していませんか。→汚れ、錆び、ほこりなどを取り除く。
- 2.電源コードに傷がありませんか。
- 3.運転中、電源コードを動かすと電源が切れることはありませんか。

※上記の2.および3.の症状があるとき、または1.の場合で汚れなどが取り除けない場合には感電や火災の原因になりますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買上げの販売店で「お買上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間はお買上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがの恐れがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・形名・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。